

平和について僕達ができること

西中学校 3年 荻村 千裕

僕達が今、毎日学校へ通い、友達と遊んだり話したりし、家に帰ると家族がいて、家族と安心して暮らせるのは、「平和」であるおかげです。平和とは、争いや戦争がなく、安心して生活できる状態のことをいいます。しかし、学校の社会科などで学習したように、歴史上は平和ばかりではなくたくさんの「戦争」がありました。戦争が起きると多くの人が命を落としたり、けがをしたり住む場所を失ったりします。食べ物や水、薬などが手に入らなくなり、たくさんの人がくるしい思いをします。なので、戦争は人々の生活をこわしてしまう非常に悲しい出来事です。

日本でも過去にはたくさんの戦争がありました。特に犠牲者が多かったのは千九百四十年頃に始まった「第二次世界大戦」で、約三百十万人ほどの人々が亡くなりました。僕の曾祖母も戦争を経験した一人です。戦時中に、負傷した兵士さんの手当てをしていたそうです。

戦争をしていた頃の日本では、戦争を否定するようなことは言っていけなかったそうです。それを聞いて僕は、「意見を言うことができない

のは絶対におかしい。自分の家族や友人が戦争に行って喜ぶ人は絶対
いない。」と思いました。しかし、今の日本は戦争をしないことを誓い、
今ではだれでも自分の意見を言うことができます。意見を共有すること
で相手の気持ちを知り、自分の主張を共有することで、誤解や対立をな
くすことができ、喧嘩が起らずに済みます。このことは、国と国の
関係と一緒です。話し合いや協力をすれば、誤解や対立が起らずに大
きな争いを防ぐことができるのです。

私達には争いが起こらないようになができるでしょうか。小・中学
生のみなさん、日常的に友達へ暴言をはいていませんか。暴言をはかな
ければお互いいやな気持ちにならなくてすむと思います。戦争について
学んでみてください。「生きたくても戦争のために亡くなった人が大勢
いた。」

このことを知れば、みんな暴言をはかなくなり、みんなが気持ちよく生
活することができます。それを続けることで、不満や喧嘩が起らずに
すんで「平和」が保たれていきます。「平和」の大切さに気づき、これか
らも守っていけるように相手のために考え、行動して「平和」な毎日を
送り続けましょう。